

自動包装機による生産能力向上で 『元祖チーズ饅頭』の販路拡大へ

ボトルネックとなっていた包装機を更新することでチーズ饅頭の生産量が倍増。
繁忙期の大型受注にもなんなく対応できるようになりました。



代表取締役

野元 宏二

のもと こうじ



自慢の元祖チーズ饅頭を
さらに多くの人に届けられるように

販売チャンス逃すことなく、もつと多くの人に自慢のチーズ饅頭を味わってもらいたい。その思いから新たな自動包装機などの導入を決断します。

新

たな包装機導入の
効果はとても大き
なものでした。それまで

販売店への供給個数を制限していたのが、その必要がなくなり、加えて納期短縮も可能になったのです。

「ボトルネックが解消されたことで、これまでの2倍以上のチーズ饅頭を製造できるようになりました。今秋には、さらに多くのお客様さまに足を運んでいただけるような店舗をオープンさせます。私たちのチーズ饅頭が、その発祥の地であり、当店を育てていただいた小林市の活性化に繋がればと考えています。」



個別包装を待つ
できたてのチーズ
饅頭。

ものづくり
補助金活用
ココが
ポイント！



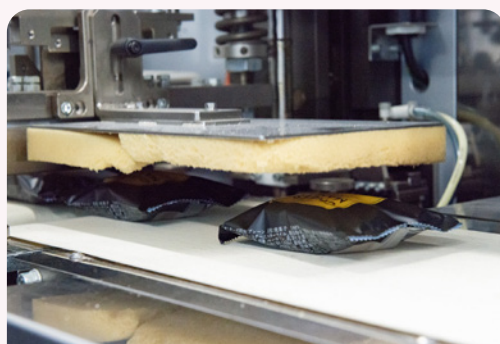
生産量が2倍に！

これまで1分間に約60袋が限界だった包装数が約100袋に増加。
同時に接着不良の手直しもなくなったことからチーズ饅頭の生産量は2倍以上になりました。

1分間に約100袋を
包装できる上、接着
不良も発生しない。



これまで手作業で行って
いた製造番号等の印字
も自動で行ってくれる。



包装機には同時導入したX線異物検査機が
連結されている。

ものづくりへの想い

宮崎を代表する銘菓であるチーズ饅頭を製造しているんだということがわれわれの誇りです。そして自分たちがつくったチーズ饅頭がお客様を通じて全国に届いていると思うと、こんなにうれしいことはありません。

今後の展望

自動包装機などを導入して、さあこれからという時にコロナ禍になってしまいました。コロナ禍がほぼ終息した今後が本当の勝負です。「元祖チーズ饅頭」を一人でも多くの方に味わってもらえるよう、販路を拡大していきます。

case
01

食料品製造業

有限会社 風月堂

設立：1974年
資本金：300万円
従業員：15名
事業内容：和洋菓子の製造・販売

〒886-0004
宮崎県小林市細野281番地11
TEL.0984-22-2987
FAX.0984-22-6975

<https://fugetudo.com/>

